



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

## “ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長  
ロンD.バートン  
2570地区ガバナー  
中井眞一郎

継続 変革 簡素 充実

### 第 2561 例会 2013.9.18

—— 新世代のための月間 ——

天候 晴 (NO. 50-12)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 服部君、細田(吉)君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8  
☎ (042) 974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7  
☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662  
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 武田好成様

#### 【会長報告】

先般、杉田社会奉仕委員長より会談の申し入れがあり2時間程対応させて頂きました。その際、委員長より4点の検討事項が提案されましたので、次回理事会にかけ決定事項については例会で報告したいと思います。

ガバナー補佐訪問は通常通りの例会。日高と合同ガバナー公式訪問は制服着用、内容等は配付の通りです。よろしくお祈いします。

#### 【幹事報告】 高橋副幹事 (代行)

◎例会変更のお知らせ

##### ◇新狭山RC

- ・9/30(月) アズグレイス 点鐘18:30 大野松茂氏
- ・10/7(月) 狭山市産業労働センター 佐藤圭司氏
- ・10/21(月) 10/14・15親睦旅行に振替
- ・10/28(月) ラ・ボア・ラクテ 川越中央RC合同例会

##### ◇新所沢RC

- ・10/15(火) 通常例会に変更
- ・10/22(火) 移動例会
- ・10/29(火) 振替休会 10/26・27  
所沢市民フェスティバル参加

##### ◇所沢東RC

- ・10/10(木) 10/13所沢祭り「綿菓子販売」振替
- ・10/31(木) 例会取止
- ・11/14(木) 11/16・17親睦旅行振替
- ・11/28(木) 11/28・29地区大会振替

#### 【委員会報告】

#### ◎雑誌委員会

馬場君

「友」9月号。表紙の彼岸花は香川県。後方さぬき富士(標高422m)は山が松で覆われています。気球はカッパドキア。日本人が事件に遭ったのはこの近くです。横組P1、RI会長、世界中のロータリアンが繋がる、情報が見つけれられる新しいWEBサイト。P6、新世代の活動。P16、若いリーダーを未来のロータリアンにするために。P24、何故「新世代」優先か。P26、国際大会を振り返って。「RI会長のお言葉に涙が出た」等。縦組P7、中川氏(東松山RC)「親睦活動から東日本大震災復興へ」、私もスキーが好きなので、ロータリアンの国際スキー親睦グループの集いが出来たらとのお話は興味深かったです。P10、脳梗塞について。P12「卓話の泉」ips細胞、酒の話、等。

#### ◎親睦活動委員会

吉田(行)君

10/19(土)[16(水)振替] 芝・とうふ屋うかい。下見に行きましたが素晴らしい建物と料理と「おもてなし」。是非ご出席をお願いします。

#### ◎前年度会長

安藤君

年度報告書を配付。ご一読頂くようお願い申し上げます。有難うございました。

#### 【出席報告】無断欠席・MUなし 大崎出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	50名	87.04%	81.48%

#### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・先日、飯信会のゴルフコンペで図らずも優勝させて頂きました。因みに42・47のスコアでした。 矢島(巖)君
- ・武田講師、本日はお世話になります。 杉田君
- ・前年度のご報告させて頂きます。本当に有難うございました。 安藤君
- ・結婚記念、何年たったか忘れました。 藤原君
- ・早退 大野君、田辺君、塩野君

本日計9000円、累計額244614円。

◎25日例会当番は石井、市川(洋)会員です。

## 【卓 話】

講師紹介

杉田社会奉仕委員長

お住まいは青梅市富岡。天覧山下でタイムスマートを経営。震災後直ぐにボランティアグループを立ち上げ、宮城県の南三陸町を中心に活動、既に26回現地へ赴いて物品提供、人的サービス等されています。

## 被災地支援 知ることの大切さ

タイムスマート飯能店 店長 よしなり  
立ち上げれ飯能プロジェクト チーム代表 **武田好成様**



2011年3月11日、日本を変える震災がありました。被災地の映像、被災者の状況が毎日のように流されましたが、私は不便の中でも変わる事なく震災前の日常の延長線上で仕事をしていました。

そんな中、被災地支援を始めるきっかけが突然参りました。先日の講師、佐々木敏行さんは私の友人なのですが、3月下旬、店に飛び込んで来て「ガソリタンクを貸してくれないか。東北へ行く。とりあえず家にある荷物を全部持って行くんだ」との事。タンクは無かったので飲料を数ケース渡しました。翌日、戻った彼から現地の写真とナマの話を伺うと、それはニュースとは違った次元の真実でした。驚いている私に「来週もう一回行くから行かないか」。さくらまつりで忙しい時期だったので居ても立ってもいられず翌週行く事になりました。(以降、モニタ使用)

南三陸町まで500km片道8時間。夜通し車で走って朝到着。今も歌津崎周辺の孤立した住宅被災者の支援を続けています。志津川港の防災センター。「皆さん避難して下さい」と言い続けて亡くなった女性が居た所。川の最深部は瓦礫を避けながら進む状況。歌津崎へ向かう途中の伊里前港。家は残っていません。大勢の自衛隊員。赤い旗は遺体がある所。ひと括りで「東北の震災」と言っても、本当に小さい港が全てやられている。伊豆の先から三浦半島、千葉の先まで港と言う港全てがこの状況だと考える必要がある。今はもう瓦礫は無いけれども何も建っていない。仮設は高台に建ち、仮設の商店がいくらか建っているだけです。

佐々木さんと相談して365日開いている私の

店に物資を集める事にしました。倉庫や外で仕分けし現場へ向かう。最初どこへ行ったら良いか分からず、WEBで、被災しながら自ら物資を運んでいる「さかなのみうら」さん情報を知りそこへ行き、3、4回一緒に避難所を回る。もっと届いていない所へという事で、その後自分達で走りました。歌津崎の道路脇に車を停めて荷物を広げると続々と被災者の方が集まって来る。10数回目にチバさんという方が「おらっちのどこにも来てくれ」と突然来た。聞くと家があるから物資が全く来ないとの事。「家が流されていない人は被災者ではない」との枠組み。チバさんに、同じ様な境遇の人達を1か所に集めてもらいそこへ物資を持っていくようにした。年配者が多く、これは現在も変わらない。仮設の風呂を3、4軒建てててすーっと帰る九州からの支援者も居た。「出来る人が出来る事を出来る時に」が我々の合言葉です。地盤沈下で満潮時は町全体が水浸し。復興が進まない原因の1つです。チバさんは82才。津波に追いかけれられ車で港から逃げた。借金してやっと船を手に入れたが収入は3分の1位。原発の事が大きく取り上げられ、小さい漁村や被災した人達の事は耳に入って来ません。

私は「現場」を見た事で震災が現実になりました。本当の真実を知る事は大切だと実感しています。「何かしたい」という方を募り、現場を見て、買い物や話を聴いたりして頂く支援を続けたい。続ける事でいろんな方との繋がりが出来て、またそこから新しいものが生まれると思っています。

飯能市では相当の予算を組んでアニメ「ヤマトススム」でまちおこしをしています。都心のコミケには全世界から約60万人が訪れます。北海道から沖縄、海外からも「天覧山」「飯能」を目指しお客様が来ています。例えば飯能のゴルフ場の8番ホールでプレイするウッズを見たら、自分も同じクラブ、手袋、靴、ボールで、同じ所に立ってみたいと思うと思いますが、アニメの「聖地巡礼」の文化も同じです。大洗、鷲宮、秩父は大きなまちおこしになっています。

「知ることの大切さ」はアニメも同じ。新しい事を知るのは人生の幅が広がる事。それが誰かのために役立つ、自分のためになる事だと思って私も続けている次第です。関心を寄せて頂ければと思います。



※次週の例会案内は省略。